

# 取付・接続編

## HDD AV NAVI SYSTEM

NV-XYZ777EX/XYZ777

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取付・接続編」および「準備・基本操作編」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取付・接続編」および「準備・基本操作編」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この「取付・接続編」は、必ずお客様へご返却ください。

# 目次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 安全のために .....                          | 3  |
| <b>準備</b>                             |    |
| 同梱品を確認する .....                        | 6  |
| 取り付け配置例 .....                         | 8  |
| <b>モニター</b>                           |    |
| モニターを取り付ける .....                      | 10 |
| <b>GPS アンテナ</b>                       |    |
| GPS アンテナを取り付ける .....                  | 13 |
| GPS アンテナを車内に取り付ける .....               | 13 |
| GPS アンテナを車外に取り付ける .....               | 14 |
| <b>フィルムレスアンテナ (TV/FM)</b>             |    |
| フィルムレスアンテナ (TV/FM) 各部の名称と働き .....     | 15 |
| 取り付けの前に .....                         | 16 |
| フィルムレスアンテナ (TV/FM) の取り付け位置を検討する ..... | 17 |
| フィルムレスアンテナ (TV/FM) を取り付ける .....       | 18 |
| <b>XYZ 本体</b>                         |    |
| XYZ 本体各部の名称と働き .....                  | 23 |
| XYZ 本体の取り付け位置を検討する .....              | 24 |
| 付属の機器を XYZ 本体に接続する .....              | 25 |
| カーステレオと XYZ を接続する .....               | 27 |
| カーステレオの外部入力 (AUX IN) を使用する場合 .....    | 27 |
| FM モジュレーターを使用する場合 .....               | 27 |
| DVD プレーヤーなどの外部機器を接続する .....           | 28 |
| XYZ 本体を車と接続する .....                   | 29 |
| XYZ 本体を取り付ける .....                    | 32 |
| インダッシュに取り付ける .....                    | 32 |
| 助手席の下やトランクルームなどに取り付ける .....           | 35 |
| <b>接続を確認する</b>                        |    |
| XYZ を起動する .....                       | 36 |
| 電源を切るには .....                         | 36 |
| テレビの映像を映してみる .....                    | 37 |
| カーステレオから音を出すための設定をする .....            | 38 |
| FM モジュレーター (FM トランスミッター) を使う場合 .....  | 38 |
| 本機のスピーカー出力を OFF にする .....             | 39 |
| テレビの音を聞いてみる .....                     | 40 |
| カーステレオとの音量のバランスを調整する .....            | 40 |
| <b>リモコン</b>                           |    |
| リモコンを取り付ける .....                      | 42 |
| <b>その他</b>                            |    |
| 困ったときは .....                          | 43 |
| 接続全体図 .....                           | 46 |

# **警告** 安全のために

## 警告表示の意味

「取付・接続編」および「準備・基本操作編」では、次のような表示をしています。  
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



指示



**警告**



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**  
や**大けが**の原因となります。

## 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取付・接続編」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



## 24V 車に使用しない

本機は DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V 車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

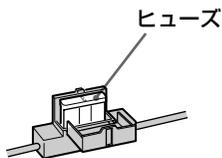


## 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示



## 前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



## エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。



禁止



下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**  
や**大けが**の原因となります。

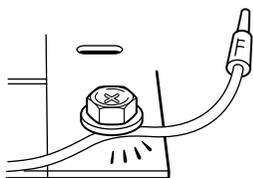
### 運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

事故や感電、火災の原因となります。  
次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



### 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



禁止

### 車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、次の部品を使うと、制御不能による事故や火災の原因となります。

- ステアリング系統
- ブレーキ系統
- タンク類など



禁止

### 取り付け、接続作業をするときには、イグニッションスイッチを OFF にするか、キーを抜いておく

イグニッションスイッチを ON にしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



指示

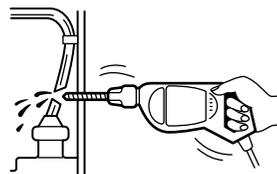


### パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



禁止

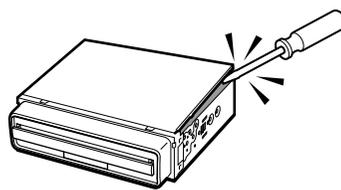


### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。  
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



### 付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。



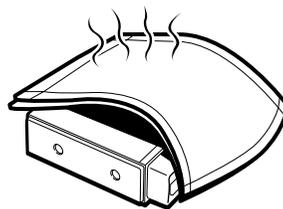
指示

### 本機の通風口をふさがない

通風口をふさいだ状態で動作させると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止





下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

### 不安定な場所に取り付けない

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

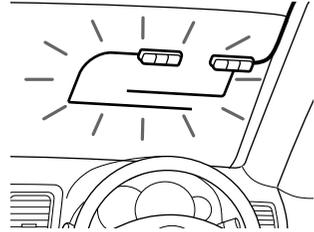


### フィルムアンテナを前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると事故やけがの原因となることがあります。「取付・接続編」の説明に従って正しい場所に取り付けてください。



禁止



### リモコンはリモコンホルダー以外に置かない

リモコンがブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やけがの原因となることがあります。



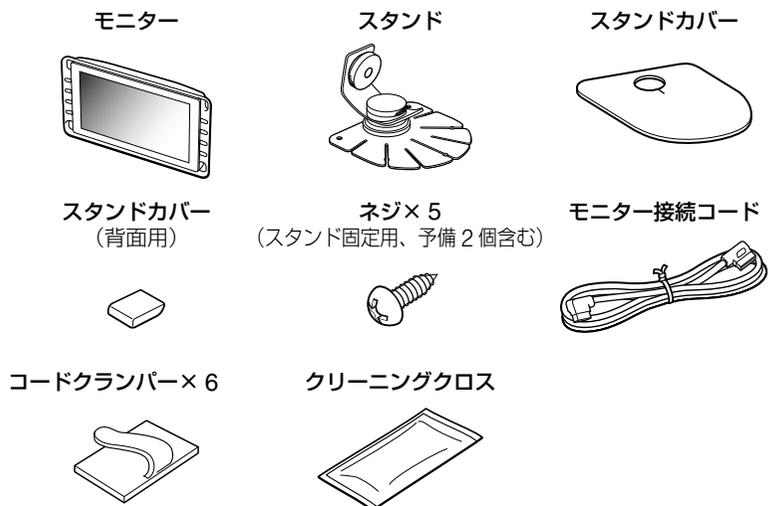
禁止



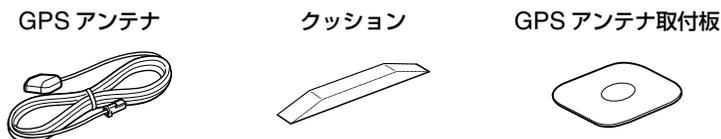
# 同梱品を確認する

付属品のうち、それぞれの接続に必要な部品を用意してください。

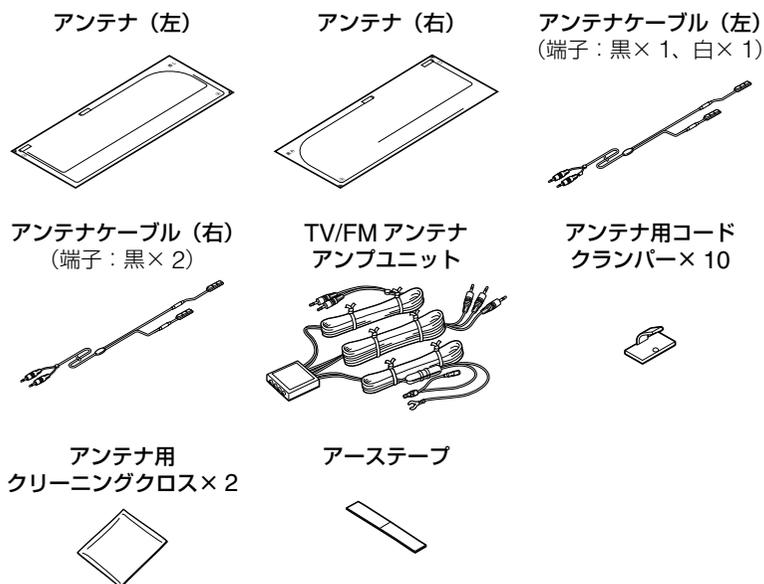
## モニター



## GPS アンテナ

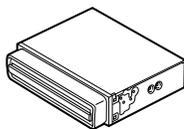


## フィルムレスアンテナ (TV/FM)



## XYZ 本体

カーユニット



コアユニット  
(カーユニットに装着  
されています)



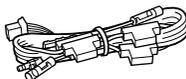
サイドパネル× 2  
(カーユニットに装着  
されています)



皿ネジ× 8  
サイドパネル取付用× 4  
(カーユニットに装着されています)  
インダッシュ取付用× 4



電源コード



AV コード



トラスネジ× 4  
インダッシュ取付用



圧着式コネクター× 3



FM モジュレーター  
延長コード



両面ファスナー× 2



## リモコン (NV-XYZ777EX のみ同梱)

リモコン



単 4 形乾電池× 2



リモコンホルダー  
(リモコンに装着されています)



両面テープ



## パソコン接続用

電源コード



AC アダプター



USB ケーブル



インストール CD-ROM



ナビ用リカバリ DVD-ROM (2 枚組)



## その他

ビーコンユニット (一式) (NV-XYZ777EX のみ)

説明書 (一式)

製品カスタマー登録のお願い

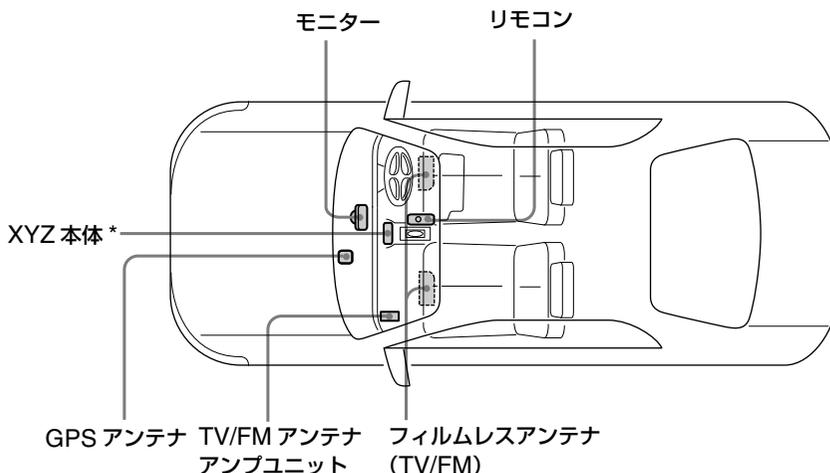
保証書

ソフトウェア使用許諾契約書

ご相談窓口のご案内

# 取り付け配置例

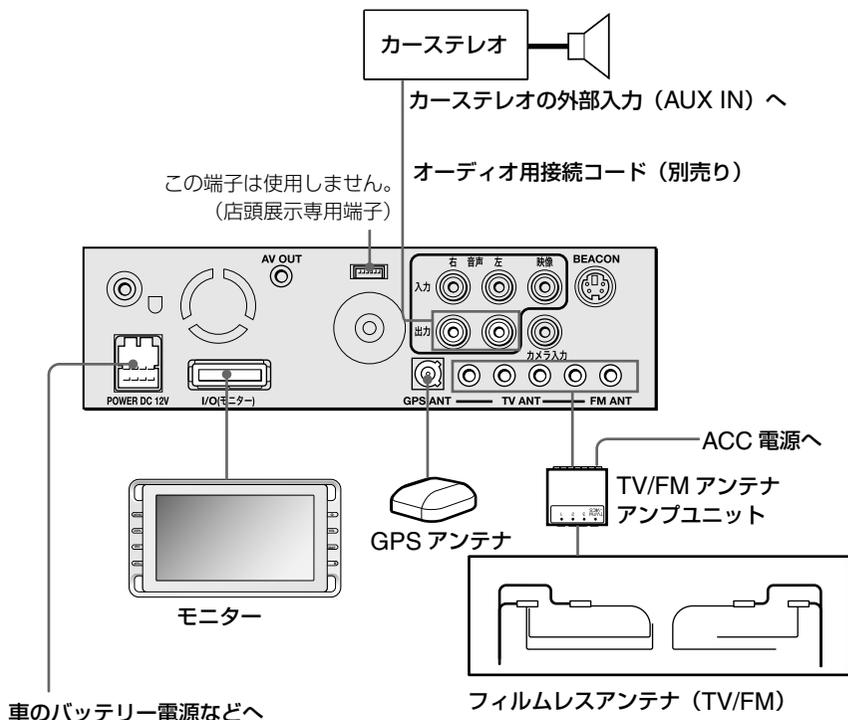
取り付けを始める前に、仮置きをして、ケーブルの長さなどを確認してください。



\* XYZ本体は、助手席の下などに設置することもできます。

## 接続の概要—カーステレオの外部入力 (AUX IN) 使用時

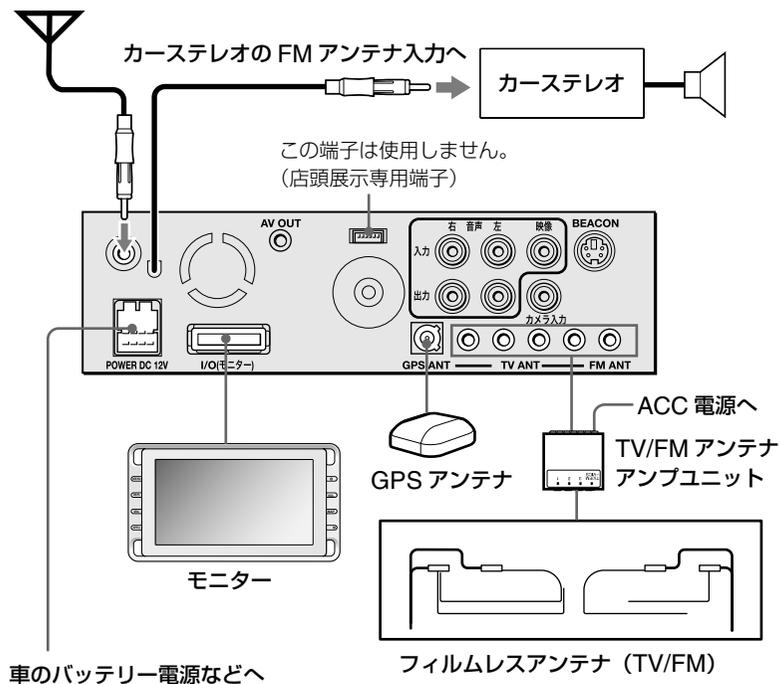
カーステレオに外部入力 (AUX IN) があり、オーディオ用接続コードを使ってカーステレオと接続する場合の概要図です。



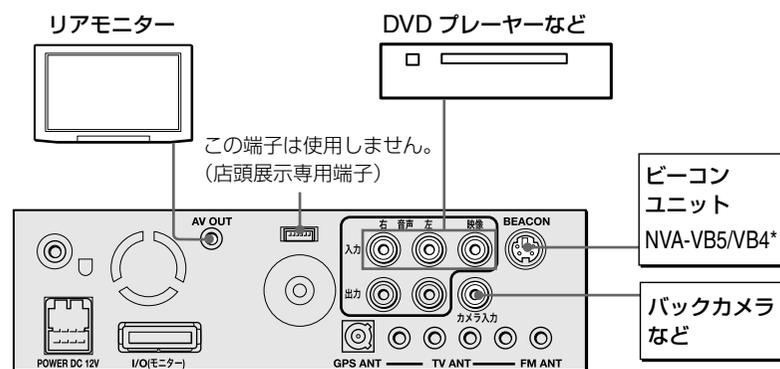
## 接続の概要－FM モジュレーター使用時

FM モジュレーターを使ってカーステレオと接続する場合の概要図です。

### 車の FM/AM アンテナ

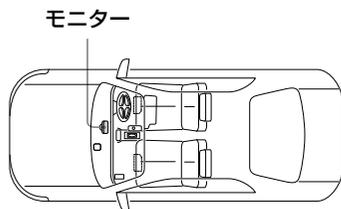


## 周辺機器（別売り）の接続概要



\* NV-XYZ777EX には、NVA-VB5 が付属されています。

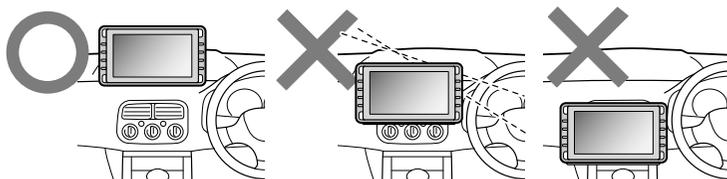
# モニターを取り付ける



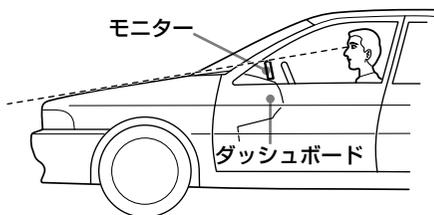
## 取付け時のご注意

以下の点を守り、正しい位置に確実に取り付けてください。

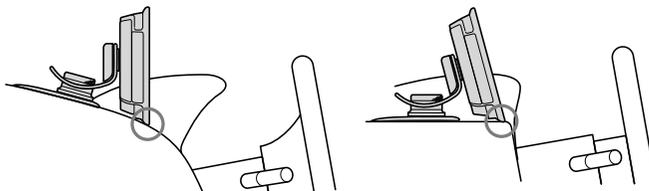
- 前方の視野を妨げない
- 運転中の視野移動が少なくてすむ
- 極端に目線が下がらない



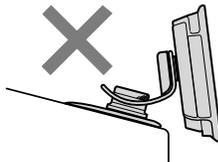
- 運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。



- モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けます。  
**ダッシュボードが曲面の場合**      **ダッシュボードが平面の場合**  
 底面をダッシュボードの曲面に      底面をダッシュボードの平面に  
 あてて固定する。      あてて固定する。



- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中に外れる恐れがあります。



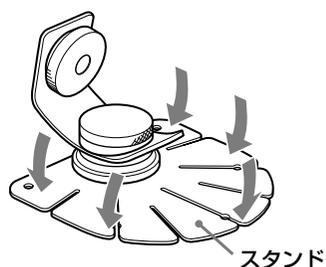
- 助手席用エアバッグシステムの動作やハザードスイッチなどを妨げないように、スピードメーターを隠してしまわないように取り付けてください。
- 極端に低温または高温になる場所や、直射日光が当たる場所を避けてください。キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。

## 取り付けかた

### ご注意

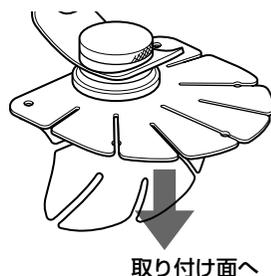
- 曲げすぎてスタンドが浮かないようにご注意ください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなります。慎重に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り付け面の表面温度が低いと両面テープの接着力が弱くなります。ヘアドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。スタンド貼り付け後24時間以上経ってからモニター取り付けを行ってください。

### 1 ダッシュボードの形状に合わせてスタンドを曲げる

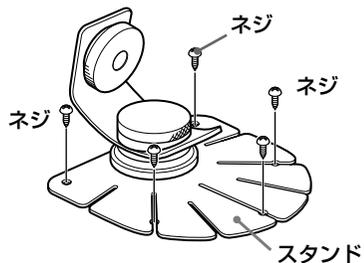


### 2 クリーニングクロスで取り付け面の汚れを取る

### 3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける



### 4 ネジで固定する



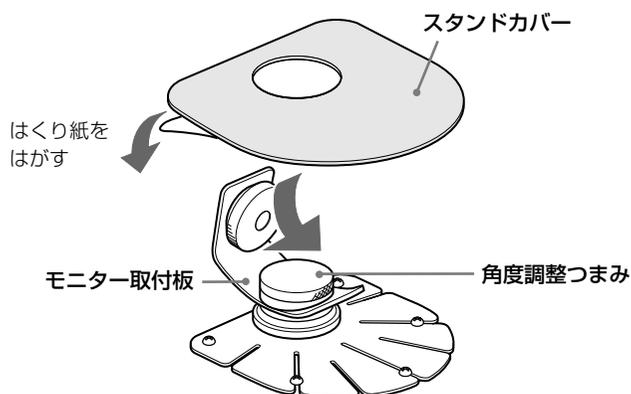
取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

### 5 スタンドカバーをかける

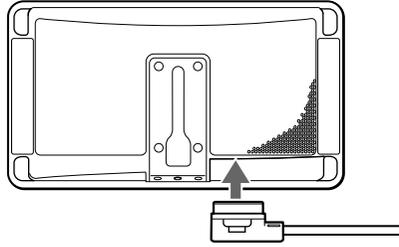
角度調整つまみをゆるめてから、スタンドカバーのはくり紙をはがし、スタンドに通します。

### ご注意

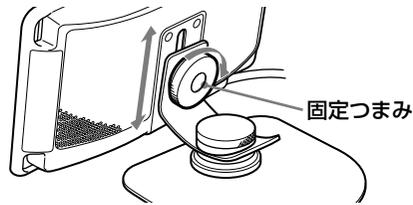
スタンドカバーが通りにくい場合は、モニター取付板の位置を調整してください。



## 6 モニター接続コードを接続する



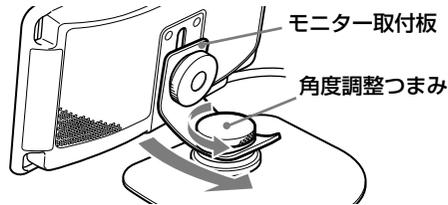
## 7 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める



### ちょっと一言

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。

## 8 固定つまみをゆるめて角度を調節する



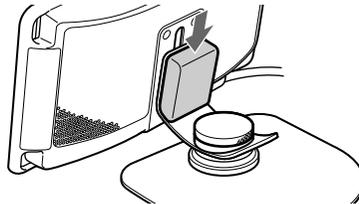
### ご注意

角度調整つまみとスタンドの両方の曲面がモニター取付板に合っていないと、不安定になります。合うように固定してください。

調節後は角度調整つまみをしっかり締めて固定します。

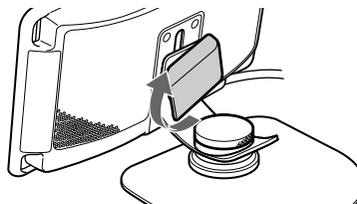
角度調整つまみの底面は、モニター取付板と合うように曲面になっています。モニター取付板と角度調整つまみが合うようにしてください。

## 9 スタンドカバー（背面用）を取り付ける



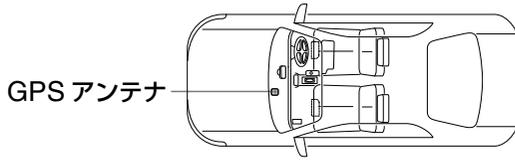
### 取りはずすには

図のように回転させて、取りはずします。



接続先は、25 ページで説明します。

## GPSアンテナを取り付ける



## GPS アンテナを車内に取り付ける

## ご注意

- 十分な受信感度を得るために必ず GPS アンテナ取付板を使用して、以下のような条件の場所に取り付けてください。
  - ダッシュボードやリアトレイなど、GPS アンテナが水平になる。
  - GPS 衛星からの電波をさえぎるものがない。
  - できるだけ広く電波が受けられる。
  - 助手席エアバッグの妨げにならない。
  - XYZ 本体から離す。
- 本体に近づけて設置すると、GPS の受信状態が不安定になることがあります。
- 一部のウィンドウガラス（フロント、リアとも）には、GPS 衛星の電波を通さないものがあります。GPS アンテナを車内に取り付けるときは、あらかじめ取り付け位置で GPS アンテナの受信が可能かどうか、販売店にご確認ください。
- VICS 対応ビーコンユニット NVA-VB4/VB5 をお使いになる場合は、ビーコンアンテナと GPS アンテナを離して設置してください。
- 取り付け面の表面温度が低いと両面テープの接着力が弱くなります。ヘアードライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

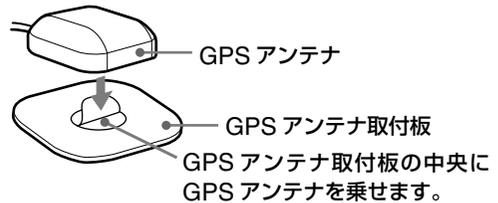
## 1 GPS アンテナ取付板をつける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



## 2 GPS アンテナを取り付ける。

GPS アンテナ取付板の中央に GPS アンテナを載せ、裏面のはくり紙をはがして取り付け面へ固定する



両面テープで貼り付ける前に、車内のインテリアやワイパーブレード、ピラーの陰に隠れないことを確認してください。

接続先は、25 ページで説明します。

## GPS アンテナを車外に取り付ける

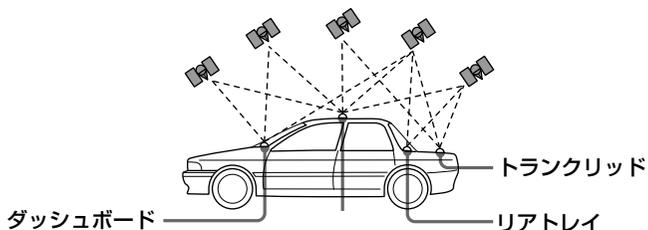
### GPS アンテナの塗装について

GPS アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料（メタリック系の塗装など）は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときに GPS アンテナを分解しないでください。

### ご注意

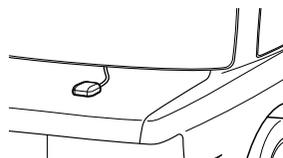
- アルミや FRP ボディの車には磁石で取り付けられません。車内に取り付けてください。
- 取り付けるときは、車のボディを傷付けないように静かにおいてください。
- 自動洗車機で洗車するときは、GPS アンテナを外してください。GPS アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- コードを車外でたるませたままにしないでください。必要に応じて付属のコードクランプで固定してください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- コードには、GPS の信号と GPS アンテナへの直流電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。コードを破損すると、GPS アンテナおよび本体の故障の原因となります。

車内に適する場所がない場合は、車外に取り付けてください。GPS アンテナは、磁石（内蔵）で取り付けます。GPS 衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所（車外のルーフやトランクリッドなど）に、水平に取り付けてください。



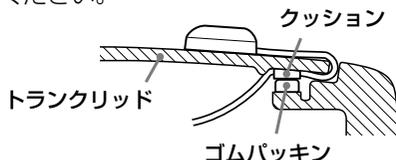
### 1 トランクリッドなどの上に取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



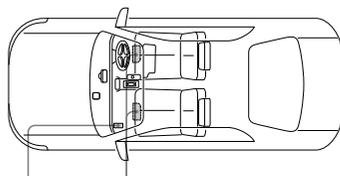
### 2 トランクリッドの裏側にクッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内に浸入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッションが当たるように取り付けてください。



接続先は、25 ページで説明します。

# フィルムレスアンテナ (TV/FM) 各部の名称と働き



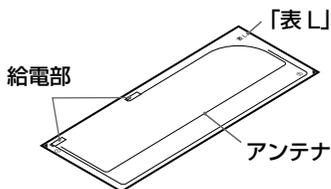
フィルムレスアンテナ TV/FM アンテナアンプユニット (TV/FM)

## フィルムレスアンテナ (TV/FM)

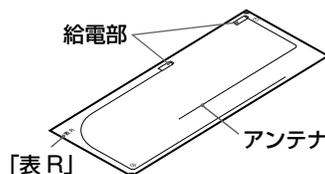
取り付け時に表面と裏面のフィルムをはがし、アンテナ部のみ車のフロントガラスに貼り付けます。

貼る向きは、アンテナにある印、「表 L」（運手席から見て左側用）、「表 R」（運転席から見て右側用）で確認します。「表」と書いてあるのが、車内側です。

左側用（運転席から見て）



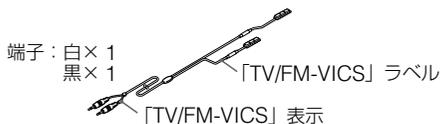
右側用（運転席から見て）



## アンテナケーブル

フィルムレスアンテナ (TV/FM) の給電部と TV/FM アンテナアンプユニットを接続します。

左側用



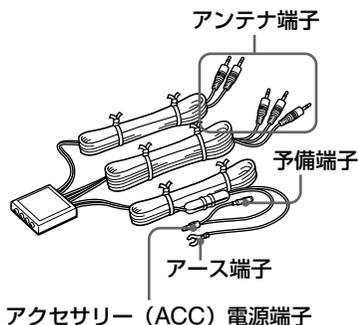
右側用



## TV/FM アンテナアンプユニット

フィルムレスアンテナ (TV/FM) からの信号を XYZ 本体に送るユニットです。アンテナ端子を XYZ 本体に接続し、アンテナケーブルを差し込んでフィルムレスアンテナ (TV/FM) からの信号を受け取ります。

車のアクセサリ電源にも接続します。



# 取り付けの前に

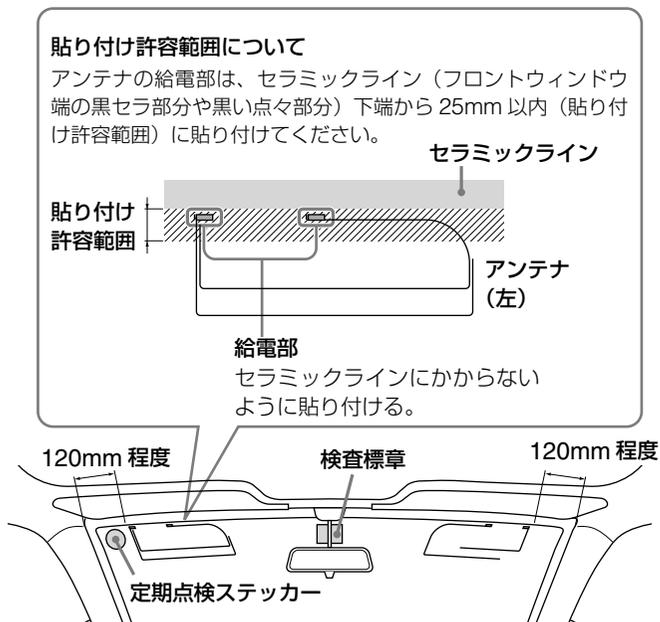
## 準備するもの

次のものを準備してください。

- 工具（プラスドライバーなど）
- セロハンテープ
- はさみ

## 貼り付け位置について

- フィルムレスアンテナ（TV/FM）は、検査標章や定期点検ステッカーと重ならないように貼り付けてください。（目安としては、フロントウィンドウの端から 120mm 程度離れた位置です。）
- フィルムレスアンテナ（TV/FM）は、フロントウィンドウ専用です。フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けると、受信感度を著しく低下させます。
- 道路運送車輛の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に適合させるため、また、性能を十分に発揮させるため、「貼り付け許容範囲について」（下記）をよくお読みのうえ、フロントウィンドウの指定位置に指定寸法内で正しく貼り付けてください。
- 左ハンドル車の場合も、左右逆には貼り付けず、下図のとおり貼り付けてください。



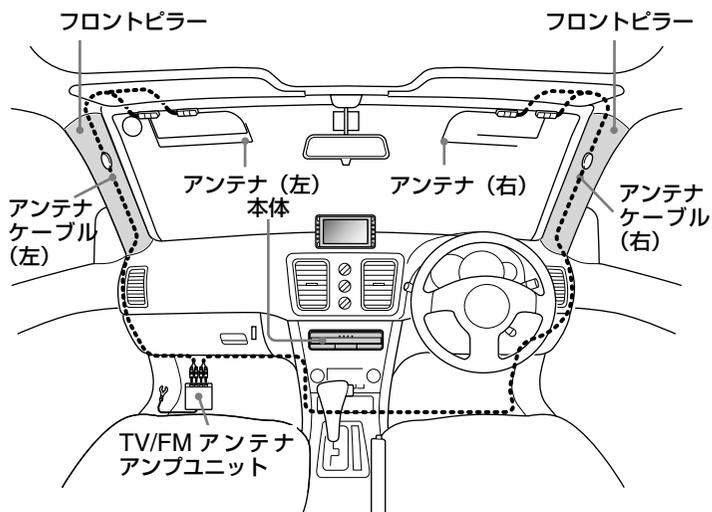
# フィルムレスアンテナ (TV/FM) の取り付け位置を検討する

ケーブルとフィルムレスアンテナ (TV/FM) を仮止めし、ケーブルの引き回しなどを充分に検討してから作業を開始してください。

## 取り付け完成例

### ご注意

- 車種によっては、取り付けられない場合があります。下記のような場合には、別売りの外付けアンテナをご利用ください。詳しくは、販売店にご相談ください。
  - 電波を通さないガラス（熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透過ガラスなど）を使用した車両では、受信感度が著しく低下します。
  - フロントピラーにエアバックを搭載している車両には、取り付けられません。
  - フロントガラスにFM/AM ラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるため、アンテナが重ならないように貼り付けてください。



# フィルムレスアンテナ (TV/FM) を取り付ける

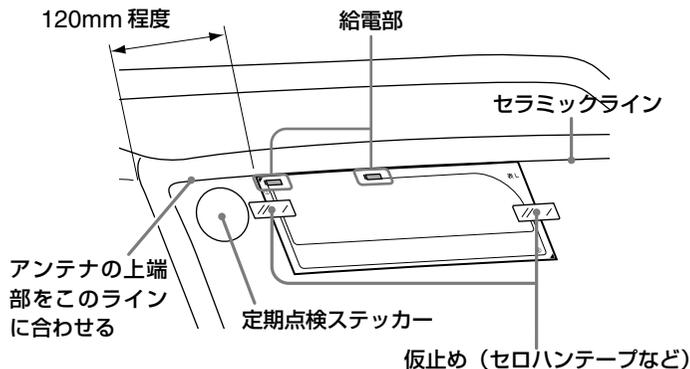
## ご注意

アンテナを一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼り直しできません。必ずケーブルとアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

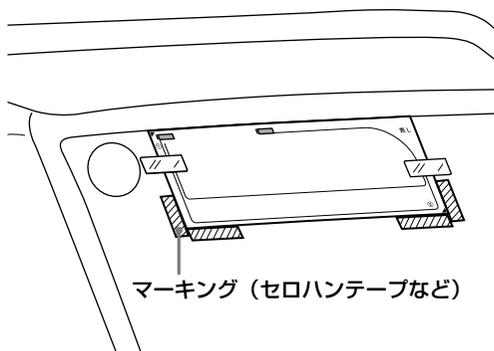
## 1 貼り付け位置を確認する

1 アンテナの給電部をセラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープなどで仮止めする。

ここではアンテナのフィルムをはがさないでください。下図は車内側から見た左側の例です。右側も同様に貼り付けます。



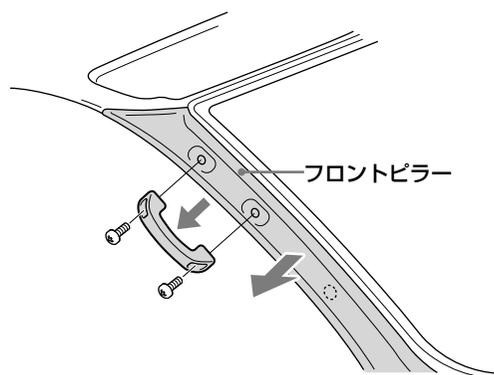
2 アンテナの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングする。



## 2 フロントウィンドウ両端のフロントピラー (内張り) を取りはずす

## ご注意

- フロントピラーの内張りはクリップやネジなどで固定されており、無理にはずすと、破損したり変形したりすることがあります。
- お客様自身が取り付けをされる際に、フロントピラーの内張りの取りはずし作業が困難な場合は、車のお買い上げ店やディーラーにお問い合わせください。(作業工費はお客様にご負担いただく場合があります。)



(上図は、ワンボックスやRVタイプなど、フロントピラー部にハンドルが装着されている車の取りはずし例です。)

### 3

## アンテナをフロントガラスに貼り付ける

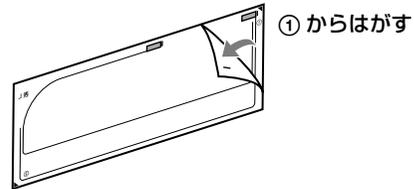
### 貼り付ける前に

仮止めしたアンテナを取りはずしてから、貼り付けてください。

### 貼り付け時のご注意

- アンテナの形状は左右で異なります。手順の図のとおり貼り付けてください。
- 上下位置はセラミックラインの下端に合わせ、左右位置はマーキング（セロハンテープなど）に合わせて貼り付けてください。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。
- アンテナをフィルム上から強くこすらないと、アンテナがガラスにつかずに、フィルムに残ることがあります。

- 1 フロントウィンドウ（車内側）を付属のアンテナ用クリーニングクロスで綺麗にする。  
汚れがひどいときは、市販のクリーナーなどをつかって、取り付け面のワックス、ほこりなどを拭きとってください。
- 2 裏面（フロントガラス側）のフィルムを、①の三角マーク位置からゆっくりはがす。



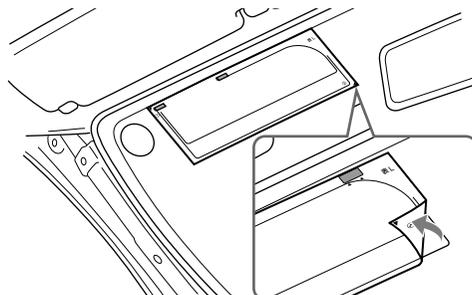
- アンテナが断線しないように、ゆっくりとはがしてください。
  - 反対面（車内側）のフィルムは、まだはがさないでください。手順4ではがします。
  - アンテナが、フィルム側に残ってしまった場合には、もう一度元に戻して強くこすり、アンテナを残してください。
- 3 アンテナを貼り付ける。  
アンテナ上を強く押さえて、フロントガラスに貼り付けます。アンテナの付着面に空気層が残っていないか、車の外側から必ず確認してください。



### ご注意

- アンテナを貼り付けた直後（3時間以内）は、ガラスクリーナーなどを吹き付けたり、貼付面を拭いたりしないでください。アンテナがはがれることがあります。
- 3時間以上経過後も、貼付面を拭くときは、柔らかい布などを使用してください。アンテナに傷がつくと受信感度が著しく低下する場合があります。

- 4 表面（車内側）のフィルムを、②の三角マーク位置からはがす。アンテナがフロントガラスに貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりはがしてください。アンテナがフィルムに付いてきたときは、もう一度フィルムを元に戻し、アンテナの上を強く押さえてください。



## 4 アンテナケーブルをアンテナに取り付ける

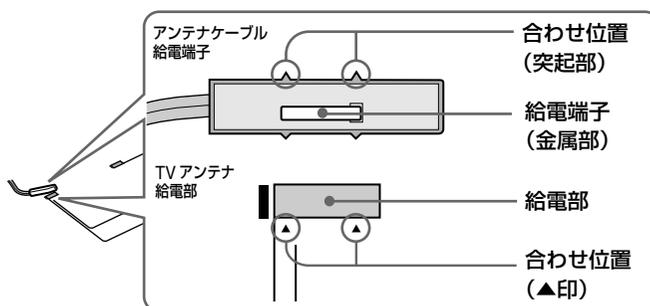
### ご注意

給電端子は、必ずアンテナのフィルムをはがしてから取り付けてください。

- 1 アンテナの給電部保護シートをはがす。
- 2 アンテナケーブルの給電端子を、アンテナの給電部に取り付ける。
  - ケーブルの左右を間違えないように注意してください。
  - アース端子付近をセロハンテープで仮止めしておく、作業がしやすくなります。
  - 左側のアンテナには、左側用のアンテナケーブル（TV/FM-VICS 表示付、端子：黒× 1、白× 1）を接続してください。
  - アンテナの 2 か所の給電部の位置とケーブルの長短が合うように取り付けてください。

### 給電部への取り付けかた

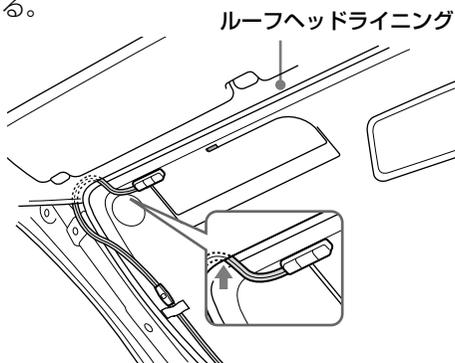
アンテナケーブルの給電端子の突起部を、アンテナの▲印に合わせて貼り付けます。（下記はアンテナケーブルの給電端子と、アンテナの給電部を拡大したものです。）



### ご注意

- ルーフヘッドライニングの端の部分少し下げ、ケーブルをルーフヘッドライニング内に収めてください。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて、折り曲がらないように注意してください。
- 給電部に負担をかけないよう、給電部を手で押さえながら作業してください。
- アンテナケーブルを強く引っ張ったり、ストレスやかみ込みがないように、コードを配線してください。

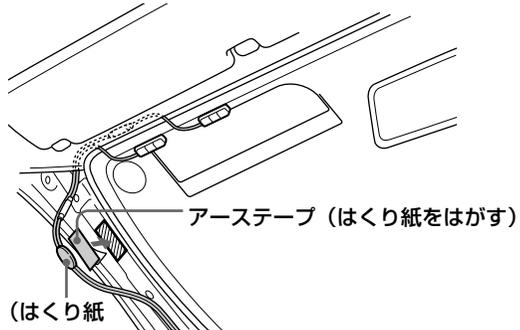
- 3 アンテナケーブルをルーフヘッドライニング（天井の内張り）内に配線する。



## 5

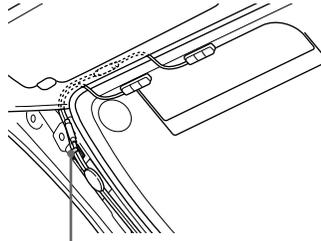
## アンテナケーブルを車に配線する

- 1 ボディーにアーステープを貼り付ける。  
アンテナケーブルのアース端子が届く範囲内で、車の金属部（ボディアーサー）の平らな部分に貼り付けてください。



アース端子 (はくり紙をはがす)

- 2 アーステープの上に、アース端子を貼り付ける。  
アース端子のはくり紙をはがし、アーステープにアース端子全体を貼り付けてください。アーステープからはみ出したり、貼り付いていない部分がないことを確認してください。
- 3 付属のアンテナ用コードクランパーでケーブルを固定しながら、アンテナケーブルを配線する。  
フロントピラーを取り付けたときにケーブルがかみ込まれない位置に配線してください。



アンテナ用コードクランパー



アンテナケーブル (左)



**重要なご注意！**  
ペダル付近には配線しないでください。

## ご注意

- 貼り付け面の汚れは、よく拭き取ってください。
- アーステープは、必ず車両の平らな金属部分（ボディアーサー）に全体を貼り付けてください。平面でない部分や、クリップ穴部、ネジ穴部などには貼り付けしないでください。また、ボディの塗装をはがさないでください。
- アーステープは必ず確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、十分な受信感度が得られません。

### 重要なお注意

コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付かないようにしてください。

### 重要なお注意

TV/FM アンテナアンプユニットがブレーキペダルの下に挟まるとたいへん危険です。必ず助手席側に取り付けてください。

### 重要なお注意

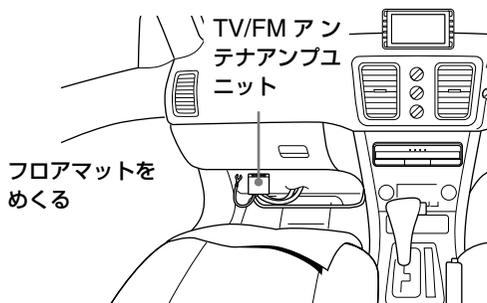
直接バッテリーには接続しないでください。

## 6 TV/FM アンテナアンプユニットを取り付ける

46 ページの接続全体図もあわせて確認してください。

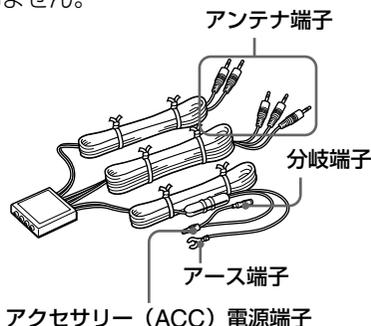
- 1 TV/FM アンテナアンプユニットのはくりは紙をはがし、車両に取り付ける。

ケーブルが XYZ 本体に届く範囲内で、助手席足元の脇のフロア部分などに取り付けてください。(貼り付け面の汚れはよく拭き取ってください。)



- 2 TV/FM アンテナアンプユニットから出ているアースコードを、ボディーアースの取れる車両金属部に固定する。
- 3 アンテナケーブルを、表示 (1、2、3、TV/FM-VICS) にあわせて TV/FM アンテナアンプユニットに接続する。
- 4 TV/FM アンテナアンプユニットをカーユニットと接続する。

- TV/FM アンテナアンプユニットのアンテナ端子を、カーユニットに接続する。  
FM/VICS 用端子はカーユニットの FM ANT 端子に接続してください。その他の 4 本の端子は、どの TV ANT 入力に差し込んでも構いません。



- 5 アクセサリー (ACC) 電源端子を、ACC 電源に接続する。

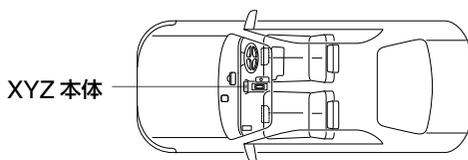
## 7 フロントピラー (内張り) を元に戻す

## 8 アンテナ用コードクランパーを使って、コードを処理する

17 ページに「取り付け完成例」を記載しています。ご参照ください。

接続先は、25 ページで説明します。

# XYZ本体各部の名称と働き



## FM アンテナ出力

カーステレオのFM アンテナ入力端子に接続して、カーステレオからテレビ、ビデオなどの音声を出力します。(27 ページ)

音声出力端子でカーステレオに接続した場合は、このコードの接続は不要です。

## AV OUT 端子

付属の AV コードを接続すると、後部座席にもう一台のモニター（別売り）を接続することができます。(28 ページ)

## 映像音声入力端子

別売りのオーディオ / ビデオ用接続コードを接続すると、DVD プレーヤーなどの外部機器の映像と音声が XYZ で楽しめます。(28 ページ)

## BEACON 端子

別売りのビーコンユニット (NV-XYZ777EX には付属) を接続します。(28 ページ)

## FM アンテナ入力端子

カーステレオの FM アンテナ入力端子を使用するとき、車の FM/AM アンテナを接続します。

## DC IN 12V 端子

付属の電源コードで、車のバッテリー電源などと接続します。(29 ページ)

## MONITOR 端子

付属のモニターを接続します。(25 ページ)

## TV/FM アンテナ端子

付属のフィルムレスアンテナ (TV/FM) を接続します。(25 ページ)

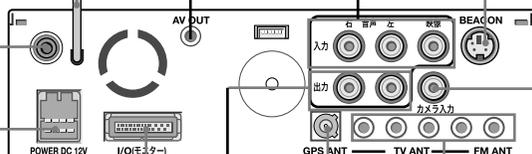
## GPS 端子

付属の GPS アンテナを接続します。(25 ページ)

## 音声出力端子

別売りのオーディオ用接続コードでカーステレオの AUX IN 端子に接続します。カーステレオからテレビ、ビデオなどの音声を出力します。(27 ページ)

この端子でカーステレオを接続した場合、FM アンテナ出力、FM アンテナ入力端子の接続は不要です。



## カメラ入力端子

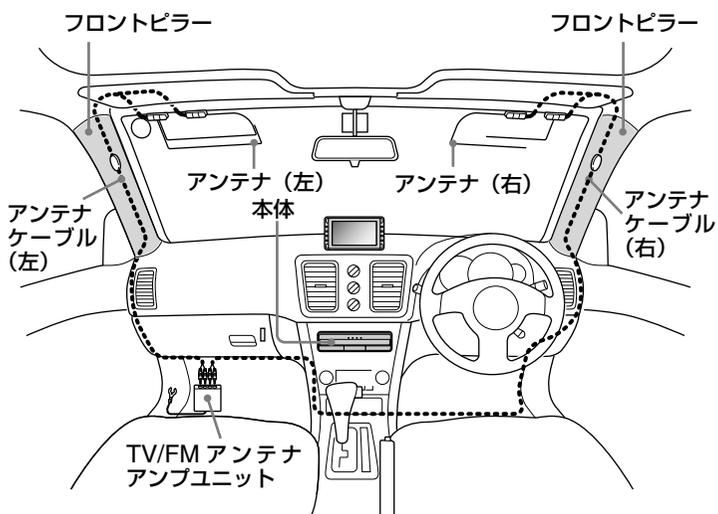
主にバックカメラの映像信号を入力します。(28 ページ)

# XYZ本体の取り付け位置を検討する

**1** イグニッションキーを OFF にするか、キーを抜いておく

**2** 仮置きして（下図参照）、ケーブルの長さなどを確認する

下図のように取り付けられるかどうか、取り付ける車に合わせて各ユニットを配置してください。

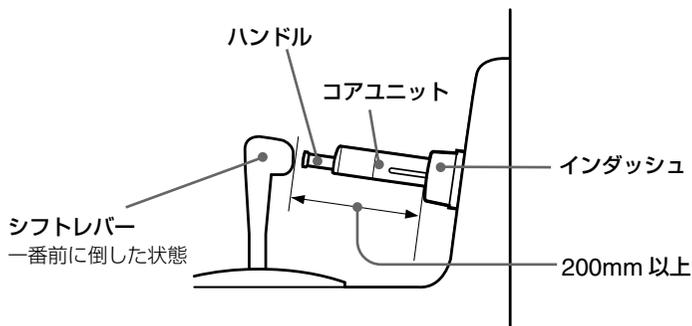
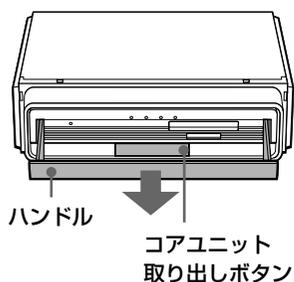


**3** コアユニットの着脱を確認する

- XYZ 本体をインダッシュに取り付けるときは、コアユニットが取り出せるかどうかを確認してください。
- シフトレバーの位置によっては、コアユニットが取り出せない場合があります。コアユニットを取り出すには、シフトレバーを一番前にした状態からカーユニットの前面まで 200mm 以上が必要です。シフトレバーを一番前にしたとき、運転の操作の妨げにならないことを確認してください。

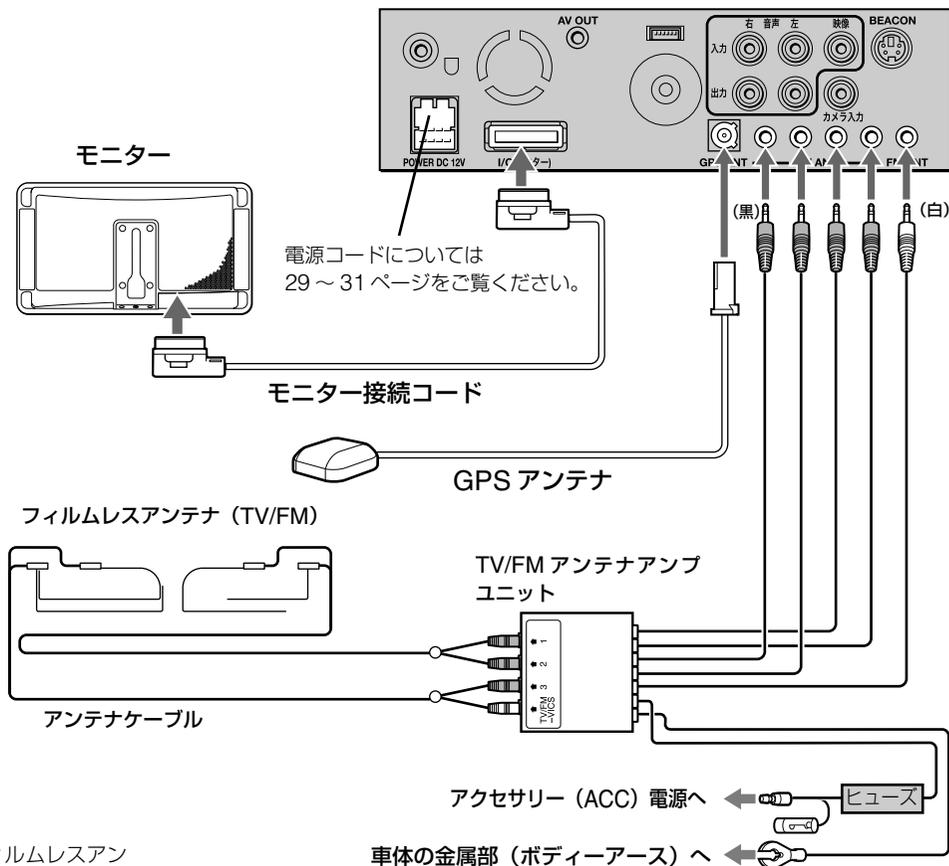
## コアユニットの取り出し かた

取り出しボタンを押しながら、図のようにハンドルを手前に引く。



# 付属の機器をXYZ本体に接続する

それぞれの機器や接続コード、電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。接近した状態で設置すると、テレビ画面が乱れることがあります。



## 重要なお注意

本機に付属のフィルムレスアンテナ (TV/FM) はACC (アクセサリ) ポジションのない車には取付・接続しないでください。

バッテリー電源 (常時電源) に接続すると、バッテリー上がり の原因となります。

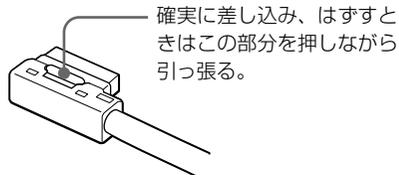
### ちょっと一言

モニター接続コードのコネクタが抜けにくいときには、一度押しこみながら、ロック部分を押した後に、引っ張ってください。

### ご注意

モニター接続コードを抜くときは、モニターの⏻（電源）ボタンを長押しして、XYZ本体の電源を切ってから行ってください。

## モニター接続コードのつなぎかた



## GPS アンテナコードのつなぎかた

確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらか引張る。



### ご注意

TV/FM-VICS のタグの付いたアンテナケーブルは、必ず TV/FM アンテナアンプユニットの TV/FM -VICS 端子に接続してください。違う端子に接続すると、FM VICS の受信がしづらくなります。

## TV/FM アンテナアンプユニットのつなぎかた

黒のアンテナコード 1～4 は、どのアンテナ端子に接続しても構いません。

# カーステレオとXYZを接続する

本機から出力される音声には、以下のものがあります：

- ナビゲーションの音声案内
- 操作音
- 音楽、テレビ、ビデオ、外部入力機器（DVD など）の音声

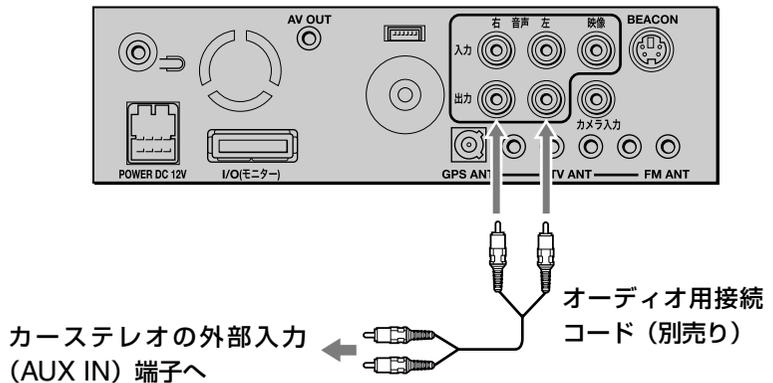
音楽、テレビ、ビデオ、外部入力機器（DVD など）の音声を、よりよい音で楽しみたいときは、カーステレオを利用して、車のスピーカーで聞くことができます。

カーステレオを利用して音声を聞くには、次のどちらかの接続が必要です。

## カーステレオの外部入力（AUX IN）を使用する場合

お手持ちのカーステレオに外部入力端子（AUX-IN）がある場合は、別売りのオーディオ接続コード\* を使っての接続をおすすめします。クリアな音で音楽をお楽しみいただけます。

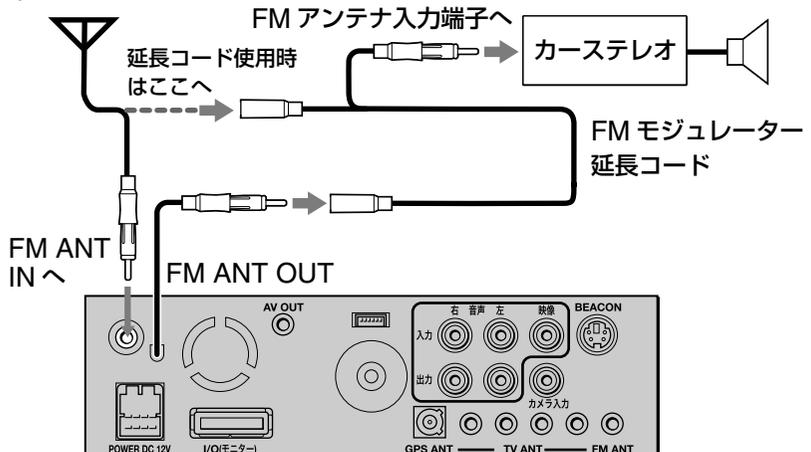
\* お手持ちのカーステレオの取扱説明書で、外部入力端子の形状を確認してください。



## FM モジュレーターを使用する場合

お手持ちのカーステレオに外部入力端子（AUX-IN）がない場合は、FM モジュレーターを使ってカーステレオに接続してください。

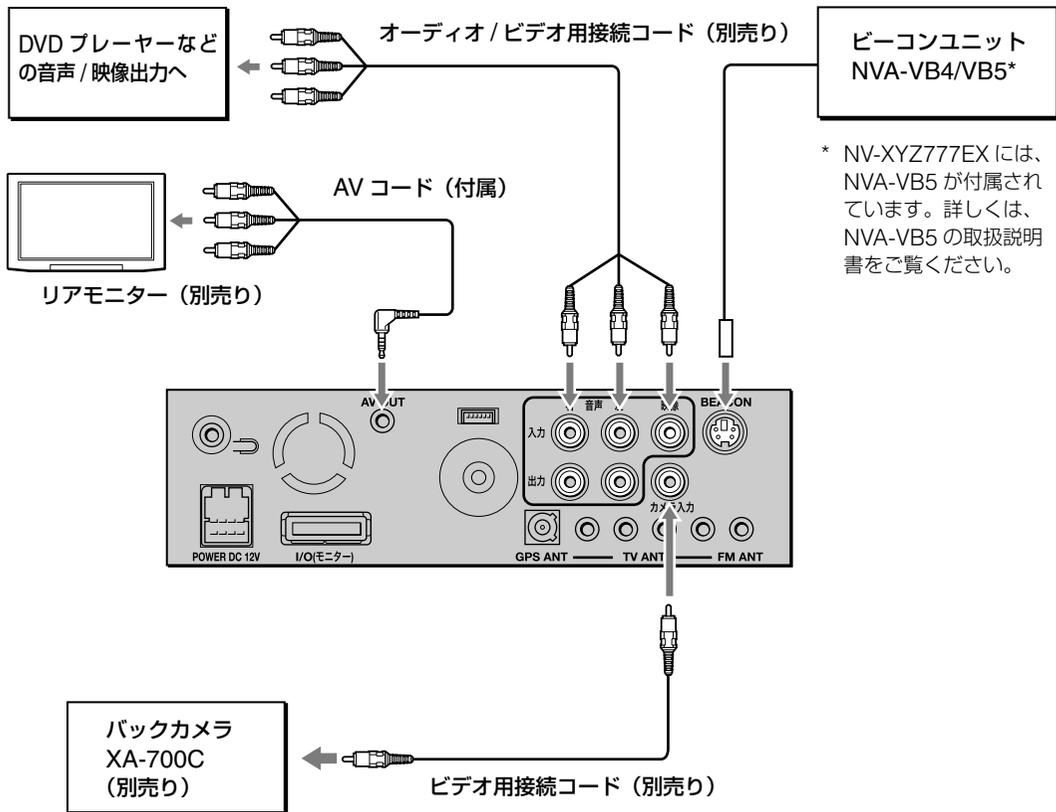
車の FM/AM アンテナ



### ちょっと一言

XYZ 本体を助手席の下などに設置したときは、付属の FM モジュレーター延長コードを使用してください。延長コードを使用したときは、車の FM/AM アンテナの先も、右図のように延長コードにつなぎます。

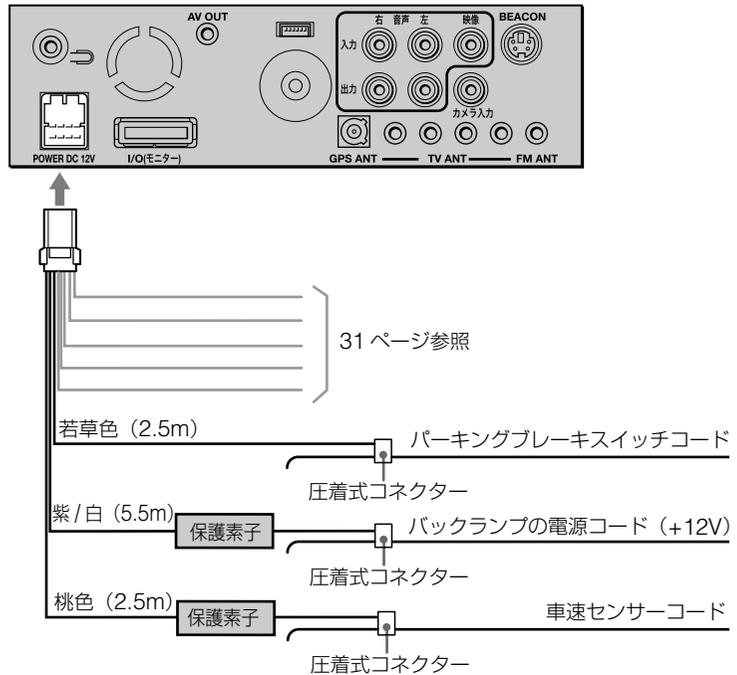
# DVDプレーヤーなどの外部機器を接続する



# XYZ本体を車と接続する

## 1 パーキングブレーキスイッチコードなどにつなぐ

コードの途中から信号を分配する圧着式コネクタを使用し、各コードの途中に接続します。各コードとの接続の役割を確認し、必要に応じて接続してください。



### ● 若草色のコード

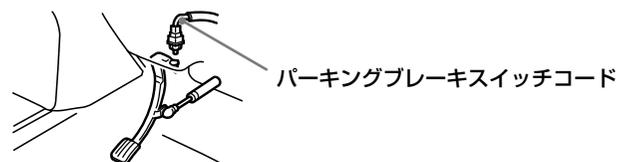
走行中か、停車中かを、サイドブレーキの状態を使って検知するために、パーキングブレーキスイッチコードに接続します。

安全のために、必ず接続してください。接続していないと、サイドブレーキが解除された状態（走行中）と判断し、安全のために以下のように機能が制限されます：

- テレビやビデオなどの動画が表示されない。  
本機では安全のため、サイドブレーキが解除されると、テレビやビデオなどのおどの画像は消え、音声のみになります。
- 各種設定や登録などの操作ができない。

下図はコードの位置の代表的な例ですが、詳しくは Mobile Electronics Information (<http://www.mobile.sony.co.jp/>) の「CAR FITTING」、または「ソニー FAX インフォメーションサービス」(詳細は、裏表紙参照) をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

### パーキングブレーキがフットブレーキの場合



### ちょっと一言

接続コードの色は、JEITA コードカラーに準拠しています。JEITA は、(社) 電子情報技術産業協会の略称です。

### ご注意

- パーキングブレーキスイッチコード、バックランプの電源コード、車速センサーコードの位置は車種により異なります。
- 本機はデジタルパルス入力を想定しています。アナログパルスを発生する車に接続するには、別売りの車速パルス発生器 XA-200S を取り付けてください。(車種やタイヤによっては取り付けられない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。)
- 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 保護素子がある場合は、圧着式コネクタは保護素子よりコード先端側に使用してください。本体側に接続すると故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

## パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



### • 桃色のコード

「自律航法機能」を使用するために、車速センサーコードに接続します。

「自律航法機能」とは、トンネル内やビルの谷間など、GPS 衛星の電波を受信できない場所でも、自車位置を測位して表示する機能です。

自車位置を正しく表示するために、紫 / 白のコードをバックランプの電源コードに必ず接続してください。車が後ろに進んでいることを検知します。接続しないと、バック時に前進表示され、自車位置がずれてしまいます。

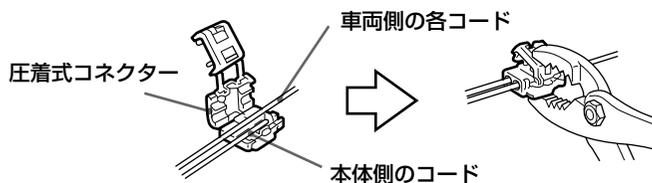
### • 紫 / 白のコード

車が後ろに進んでいることを検知するため、バックランプの電源コードに接続します。

桃色のコードを車速センサーコードに接続していると、車が後ろにどのくらい進んだかを認識し、正しい自車位置を表示します。

また、別売りのバックカメラを接続しているときは、バックギアに切り替えると、画面が自動的にバックカメラからの映像に切り替わる「カメラ入力の自動切替機能」が使用できるようになります（設定方法は、別冊「本体操作編」の「システム設定」 - 「カメラ入力の自動切替」参照）。

## 圧着式コネクターの使いかた



### ご注意

車両側の線が細い場合には、接触が不十分になることがあります。

## 2 車のバッテリー（電源）、ACC アクセサリー電源とつなぐ

### ちょっと一言

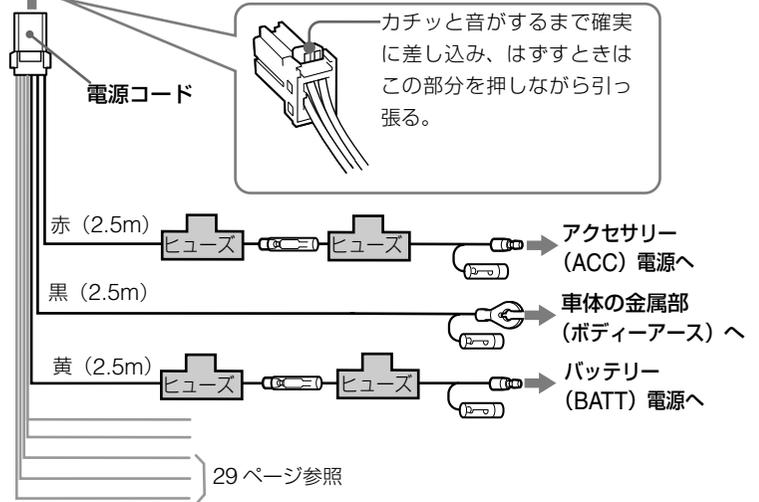
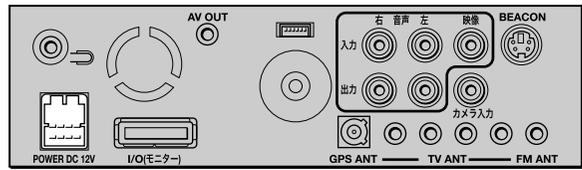
インダッシュへ取り付けるときなど、コードが長いときは、ギボシをはずして、コードを短くしておいてください。

### ご注意

アクセサリポジションのない車に本機を取り付ける場合は、赤色コードを黄色コードと同じ車両側のバッテリー電源へ接続してください。

### 重要なご注意

アクセサリポジションのない車ではエンジンを切っても本機の電源はきれませんので、バッテリー上がりの原因になります。車から離れるときには必ずモニターの電源ボタンを長押しして本機の電源を切ってください。

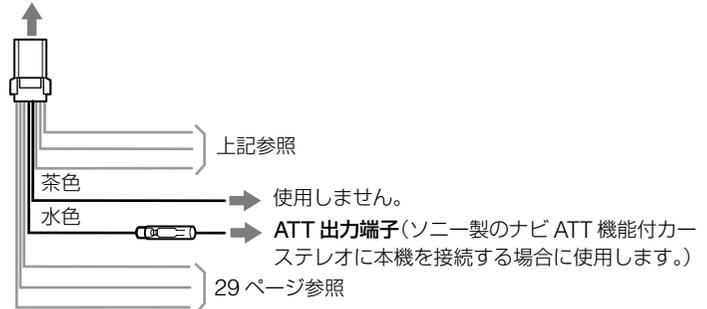
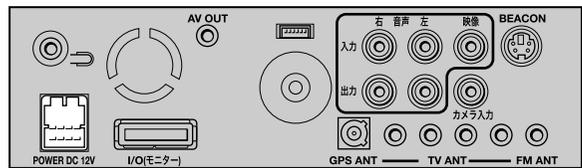


## 3 カーステレオとつなぐ

### ちょっと一言

茶色のコードは使用しませんので、接続する必要はありません。

ソニー製のナビ ATT 機能付カーステレオをお使いの場合、水色のコードをカーステレオの ATT 出力端子に接続すると、ナビゲーションの音声案内中、XYZ で再生している音楽など、他の音声を小さくするよう設定できます（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」 - 「音声案内中の外部出力アッテネート」参照）。



# XYZ本体を取り付ける

## インダッシュに取り付ける

精度よく自車位置を読み取るために水平 30 度以内に、しっかりと取り付けてください。

取り付け後、角度調節の設定をしてください（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」－「取り付け角度自動調整の初期値を設定する」参照）。

### ご注意

国産車および欧州車、米国車の一部では、アンテナ変換（別売り）が必要なことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

### ご注意

GMD-236 は、使用できません。

## 1 取り付け車種に合わせた準備をする

センターコンソールやインダッシュに取り付けるためには、車種により必要な準備が異なります。下記をご確認の上、必要な準備をしてください。

### 国産車に取り付ける場合

トヨタ車や三菱車のほとんどは純正カーステレオをはずして、その後 XYZ 本体を取り付けられます。ただし、車種（一部のトヨタ車、スバル車など）によっては、クラスターパネルの開口部が本体の寸法より小さい場合があります。

日産車の場合は、別売り取り付けキット GMD-500 のご使用をおすすめします。

マツダ車の場合は、別売り取り付けキット GMD-237 のご使用をおすすめします。

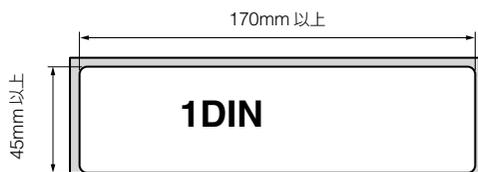
いかなる車種でもクラスターパネルの開口部が下記の寸法どおりになっているか必ず確認してください。寸法どおりになっていない場合は、下記の寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルの加工が必要となることがあります。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）加工する際は、取り付け上の問題がないことを充分確認の上、加工を行ってください。

### 外国車 / 輸入車に取り付ける場合

欧州車またはフォード車の場合、別売りの取り付けキット GMD-237 のご使用をおすすめします。

いかなる車種でもクラスターパネルの開口部が下記の寸法どおりになっているか必ず確認してください。寸法どおりになっていない場合は、下記の寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルの加工が必要となることがあります。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）加工する際は、取り付け上の問題がないことを充分確認の上、加工を行ってください。

### クラスターパネル寸法図

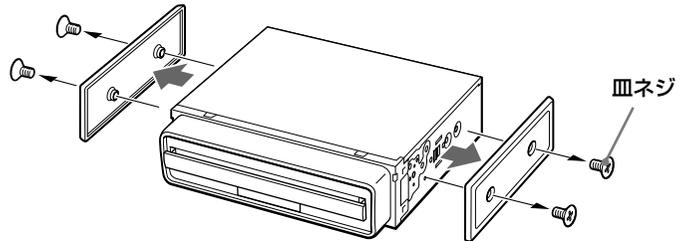


## 2 純正カーステレオを取りはずす

センターコンソールやインダッシュから純正カーステレオを取りはずし、カーステレオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、インダッシュステーションを取り付けます。

取りはずしかたが分からない場合は、「ソニー FAX インフォメーションサービス」(裏表紙に記載) または Mobile Electronics Information (<http://www.mobile.sony.co.jp/>) をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

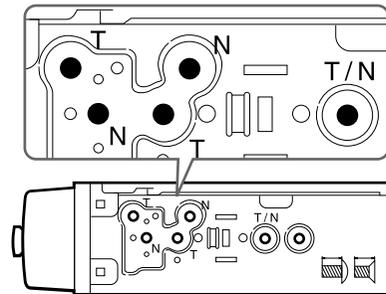
## 3 サイドパネルを取りはずす



## 4 カーユニットに純正ブラケットを取り付ける

カーユニットに純正ブラケットを取り付け、純正カーステレオと一緒にインダッシュに取り付けます。

カーユニット側面に刻印されているマークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジで取り付けてください。



### トヨタ車/三菱車の場合 (イラストはトヨタ車の場合)

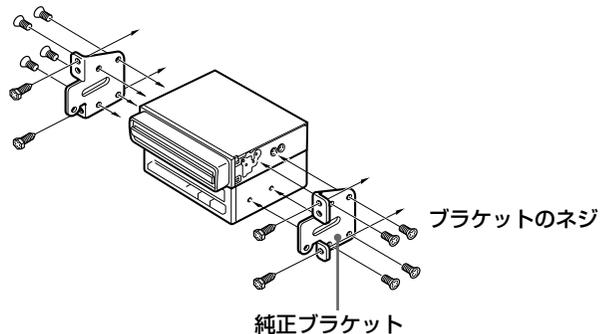
純正ブラケットをカーユニットに取り付けます。

1 カーユニット側面の、[T] (トヨタ車用/三菱車用) の刻印のあるネジ穴に、純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせる。

2 下記の付属のネジで取り付ける。

トヨタ車に取り付ける場合：皿ネジ

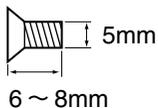
三菱車に取り付ける場合：トラスネジ



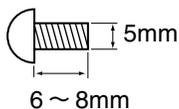
### ご注意

- 取り付けネジは、必ず付属の皿ネジまたはトラスネジで取り付けてください。万一、紛失などにより他のネジで取り付けられる場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。

#### 皿ネジ (M5)



#### トラスネジ (M5)



- 車両側の純正ブラケット、または GMD-237 をお使いの場合は、付属の取り付けパネを必ずお使いください。カーユニットに直接ネジを締め付けると故障の原因となります。

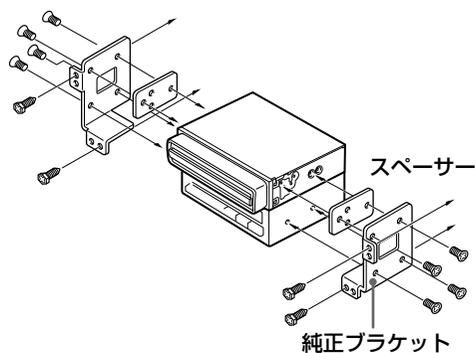
### 日産車の場合

純正ブラケットをカーユニットに取り付けます。

**1** カーユニット側面の、[N]（日産車用）の刻印のあるネジ穴に、ブラケットの取り付けネジ穴を合わせる。

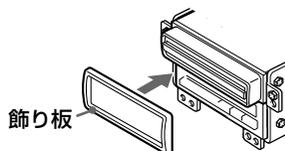
**3** 付属の皿ネジで取り付ける。

パネルとスペーサーは別売り取り付けキット GMD-500 に付属されています。



### 5 パネルまたは飾り板を取り付ける（GMD-500 または GMD-237 をお使いの場合）

パネルまたは飾り板は、別売り取付キット GMD-500 または GMD-237 に付属されています。



### 6 手順 4、5 で組み合わせたものをインダッシュへ取り付ける

## 助手席の下やトランクルームなどに取り付ける

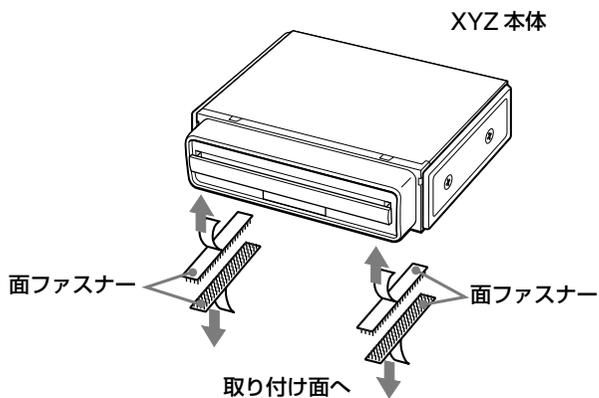
精度よく自車位置を読み取るために、なるべく水平 5 度以内に、しっかりと取り付けてください。

水平 5 度以上傾きのある場所に取り付けるときは、取り付け後、取り付け角度自動調整の初期値を設定してください（別冊「本体操作編」の「ナビゲーションメニューを使う」－「取り付け角度自動調整の初期値を設定する」参照）。

### ご注意

- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - － 高温になる所
  - － 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い所
- 面ファスナーは、底面の銘板を避けて貼ってください。

### 面ファスナーを必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける

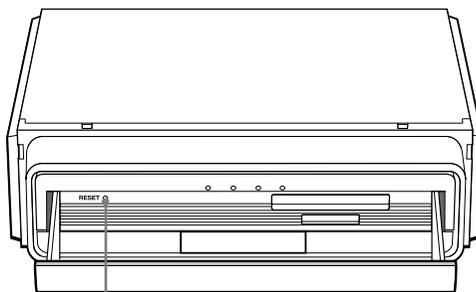


# XYZを起動する

取り付けと接続が終わったら、XYZ を起動してみましょう。

**1** 車のエンジンをかけて起動させて、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

**2** モニターの  (電源) ボタンを押して電源を入れる  
初めて使うときは、コアユニットのリセットボタンをつまようじの先などで押して、リセットしてください。



リセットボタン

**3** タッチパネルの位置調整の画面が表示されたときは、タッチパネルの位置を調整する

画面に表示される  マークの中心を正確にタッチします。



調整が完了すると、「アプリケーション選択画面」が表示されます。

## ご注意

- 指以外のものでもタッチすると、画面が傷ついたり割れたりする原因になります。
- 正確にタッチしないと、開始画面（アプリケーション選択画面）が表示されません。
- 市販の傷防止フィルムを画面に貼ると、操作できなくなります。

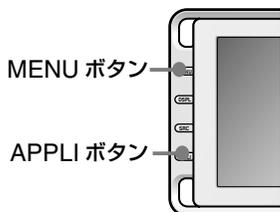
## 電源を切るには

本機の電源は、エンジンを切ると、自動的に切れます。  
アクセサリ（ACC）ポジションのない車では、エンジンを切っただけでは本機の電源は切れません。バッテリー上がりの原因となりますので、必ずモニターの  (電源) ボタンを 2 秒以上押したままにして電源を切ってください。

モニターの電源のみを切りたいときは、 (電源) ボタンを短く押します。

# テレビの映像を映してみる

モニター接続コードの接続や、フィルムレスアンテナ（TV/FM）の接続が正しく行われているかを確認します。



- 1 モニターの APPLI ボタンを押してアプリケーション選択画面を表示し、「テレビを見る」をタッチする**



- 2 モニターの MENU ボタンを押す**

テレビメニューが表示されます。

- 3 「テレビ設定」 - 「チャンネル設定」 - 「オート」の順にタッチする**

放送局が自動的に選局され、画面にテレビが映ります。

# カーステレオから音を出すための設定をする

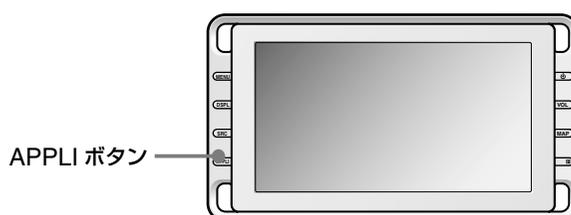
テレビや音楽の音声を、カーステレオのスピーカーで聞くための接続をした場合は、以下の設定をしてください。

同時に、モニターのスピーカーから出力されるようになっているテレビや音楽の音声を「OFF」設定してください。

## FM モジュレーター（FM トランスミッター）を使う場合

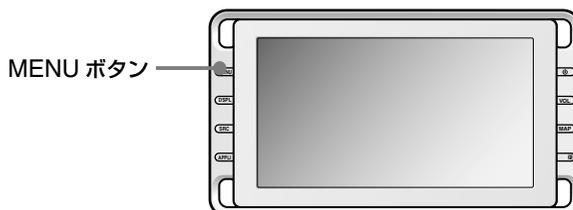
FM モジュレーターは、FM チューナーを利用して、XYZ のテレビや音楽などの音声をカーステレオから出す方法です。そのため、XYZ 用として利用する FM 周波数を、以下の手順に従って設定する必要があります。

### 1 APPLI ボタンを押す



アプリケーション選択画面が表示されます。

### 2 MENU ボタンを押す



システム設定画面が表示されます。

### 3 「基本設定」をタッチする



### 4 「FM トランスミッター」をタッチする



## 5 「ON」をタッチして、チェックを入れる



お買い上げ時の設定では、「OFF」にチェックが入っています。

## 6 送信周波数を入力する



### ご注意

FM ラジオ放送局がない周波数に設定しても、電波状況によりノイズが出る場合があります。

設定できる周波数範囲は、FM 76.5MHz ~ 79.5 MHz です。FM 周波数の設定は、FM ラジオ放送の周波数を避けて設定してください。

## 7 入力が完了したら、「設定」をタッチする



## 8 カーステレオのFM 受信周波数を、手順 6 で設定した周波数に合わせる

### 本機のスピーカー出力を OFF にする

カーステレオから音を出す設定をしたときは、以下の手順で、本機（モニター）のスピーカー出力を OFF に設定してください。

- 1 APPLI ボタンを押す。
- 2 MENU ボタンを押す。
- 3 「基本設定」をタッチする。
- 4 「音設定」をタッチする。
- 5 「スピーカー出力（車載時）」をタッチする。
- 6 「OFF」をタッチする。

# テレビの音を聞いてみる

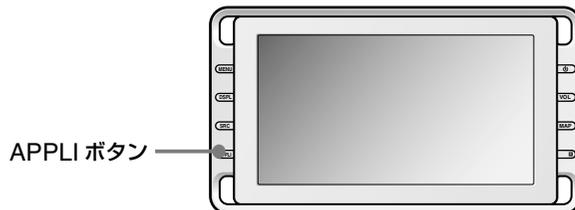
カーステレオとの接続が正しいかを確認めます。

- 1 モニターの APPLI ボタンを押してアプリケーション選択画面を表示し、「テレビを見る」をタッチする**
- 2 カーステレオの AUX IN 端子を使用する場合**  
カーステレオの入力切替を AUX にする。  
**FM モジュレーターでカーステレオを使用する場合**  
XYZ 用に設定した周波数に合わせる。
- 3 カーステレオで、ボリュームを調整する**

## カーステレオとの音量のバランスを調整する

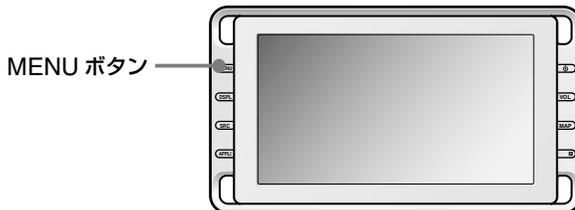
XYZ のテレビに切り替えたとき、カーステレオのラジオなどの音量より、テレビの音量が大きい（または小さい）ときは、以下の手順で、XYZ からカーステレオへ送られている音量の調整をしてください。

### 1 APPLI ボタンを押す



アプリケーション選択画面が表示されます。

### 2 MENU ボタンを押す



システム設定画面が表示されます。

### 3 「基本設定」をタッチする



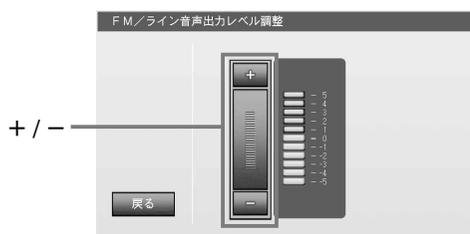
### 4 「音設定」をタッチする



### 5 「FM/ ライン音声出力レベル調整」をタッチする



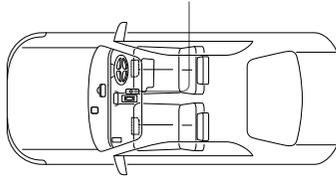
### 6 + / - をタッチして、カーステレオの音量とのバランスを調整する



# リモコンを取り付ける

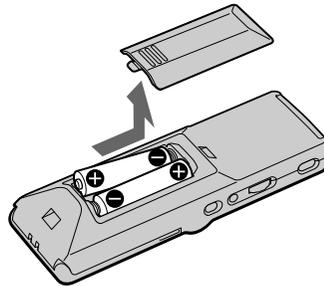
NV-XYZ777 では、リモコンは別売りです。RM-X700 をお求めください。

リモコン



## 1 リモコンに付属の乾電池を入れる

単4形乾電池2本を(+)と(-)を間違えないように、正しく入れてください。



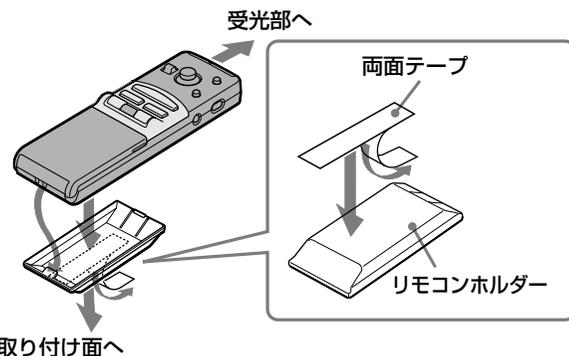
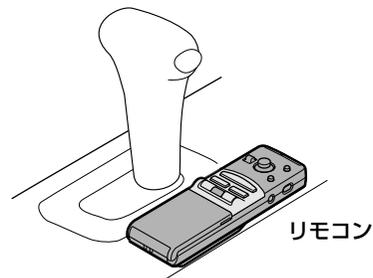
## 2 取り付けたい位置で、リモコンが動作することを確認する

## 3 両面テープで、リモコンと受光部が向き合うように取り付ける

• シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

### ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになる所
  - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる所
  - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのある所
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



## 困ったときは

### 症状

### 原因および処置

電源が入らない

- 電源コードが正しく接続されていない。→「XYZ 本体を車と接続する」(29 ページ) を参照し、接続を確認してください。
- 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続ポイントをすべて確認してください。
- ヒューズが切れている。→新しいヒューズと交換してください。ヒューズが切れた原因が不明な場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- モニターの ⏻(電源) ボタンを長押しして電源を切った。→ ⏻(電源) ボタンを押す。⏻(電源) ボタンを長押しして電源を切った場合には、⏻(電源) ボタンを押して電源を入れる必要があります。

テレビが映らない

- フィルムレスアンテナ (TV/FM) のアンテナ入力ケーブルとアンテナアンプユニットが接続されていない。→「フィルムレスアンテナ (TV/FM) を取り付ける」(18 ページ) を参照し、アンテナ入力ケーブルとアンテナアンプユニットを接続してください。
- フィルムレスアンテナ (TV/FM) のアンプユニットと本体が接続されていない。→「フィルムレスアンテナ (TV/FM) を取り付ける」(18 ページ) を参照し、アンプユニットの接続コードを接続してください。
- 若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。→接続してください。

画面がつぶれる、流れる、色がつかない

- 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続ポイントをすべて確認してください。

画面に線、斑点状のノイズが現れる

- 接続コード、TV/FM アンテナアンプユニットからのコード、電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。

テレビやビデオ、音楽など、ナビゲーション以外の音声に雑音が入る

- FM モジュレーターや電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。
- 周辺地域のラジオ放送の周波数と重なって、その影響を受けることがあります。違う周波数に再設定して確認してください。

FM VICS やテレビが受信しづらい

- TV/FM-VICS のタグの付いたアンテナ入力ケーブルが、TV/FM アンテナアンプユニットの TV/FM VICS 端子に接続されているか確認してください。違う端子に接続されていると、FM VICS の受信がしづらくなります。
- フィルムレスアンテナ (TV/FM) のアンテナ入力ケーブルのアース端子が、正しく取り付けられているかを確認してください。正しく取り付けられていないと、FM VICS の受信感度が著しく低下します。
- 車種によっては、電波を通さないガラスを使用している場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 症状

GPSを受信しない。  
(自転車位置が動かない。)

## 原因および処置

GPSアンテナが正しく接続されているか確認してください。

**GPSアンテナの接続を確認するには:** APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「接続情報を確認する」でGPSアンテナが「接続」になっている

- GPS衛星を3つ以上受信していることを確認してください。

**GPSの受信状況を確認するには:** APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「GPS受信状況を確認する」→「GPS受信状況」

GPSの受信状況は、「グレー」「暗い黄色」「明るい黄色」の状態で見られます。自転車位置を測位するには「明るい黄色」の衛星が3つ以上必要です。

- 室内にGPSアンテナを取り付けている場合は、以下の点を確認してください:

- － 必ず付属のGPSアンテナ取付板をご使用ください。
- － 車種により、GPS衛星からの電波を通さないガラスを使用している場合があります。GPSアンテナを車外に取り付けてください。
- － ガラスの電熱線やワイパー、ピラーなどで、電波が遮られている場合があります。GPSアンテナの取り付け位置を変えてみてください。
- － GPSアンテナを車外に出して、受信できるか確認してください。GPSアンテナを車外に出して受信できた場合は、GPSアンテナの設置場所を変えてみてください。

- 地下駐車場やビルの谷間などでは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できません。見通し良い場所に移動して再確認してください。

- それでもGPSを受信しない場合は、GPSを初期化してください。

**GPSを初期化するには:** APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「車両情報を設定する」→「GPSを初期化する」

初期化後、再び測位するまでには、数分かかります。

自転車位置がずれる。

- GPS衛星からの電波の誤差が大きい(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります)。車速センサーコードに接続していない場合、自転車が停止中であっても、現在位置や方向がずれてしまうことがあります。

- 自律航法の学習が終了していない。取り付け直後は学習が完了していないため、誤差が大きくなる場合があります(しばらく走行すると正しい測位をします)。

- 自律航法の学習値を初期化してください。

**自律航法の学習値を初期化するには:** APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「車両情報を設定する」→「自律航法の学習値を初期化する」

自律航法の学習値の初期化は、ナビを別の車に載せ替えたり、タイヤを交換した場合にも必ず行ってください。

- 取り付けが正しく行われていないため自律航法/マップマッチングの誤差が生じています。

自転車位置がずれる。(つづき)

自転車位置を正しく表示するには、本機を正しく取り付けることが重要です。本書「取付・接続編」に従い、正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、自転車位置がずれることがあります。

- 車速センサーコードや GPS アンテナが正しく確実に接続されているか確認してください。

**接続状態を確認するには：**APPLI ボタン→「ナビゲーション」→MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「接続情報を確認する」→「システム機器接続情報」（別冊「準備・基本操作編」の「自転車位置を正しく表示する」参照）

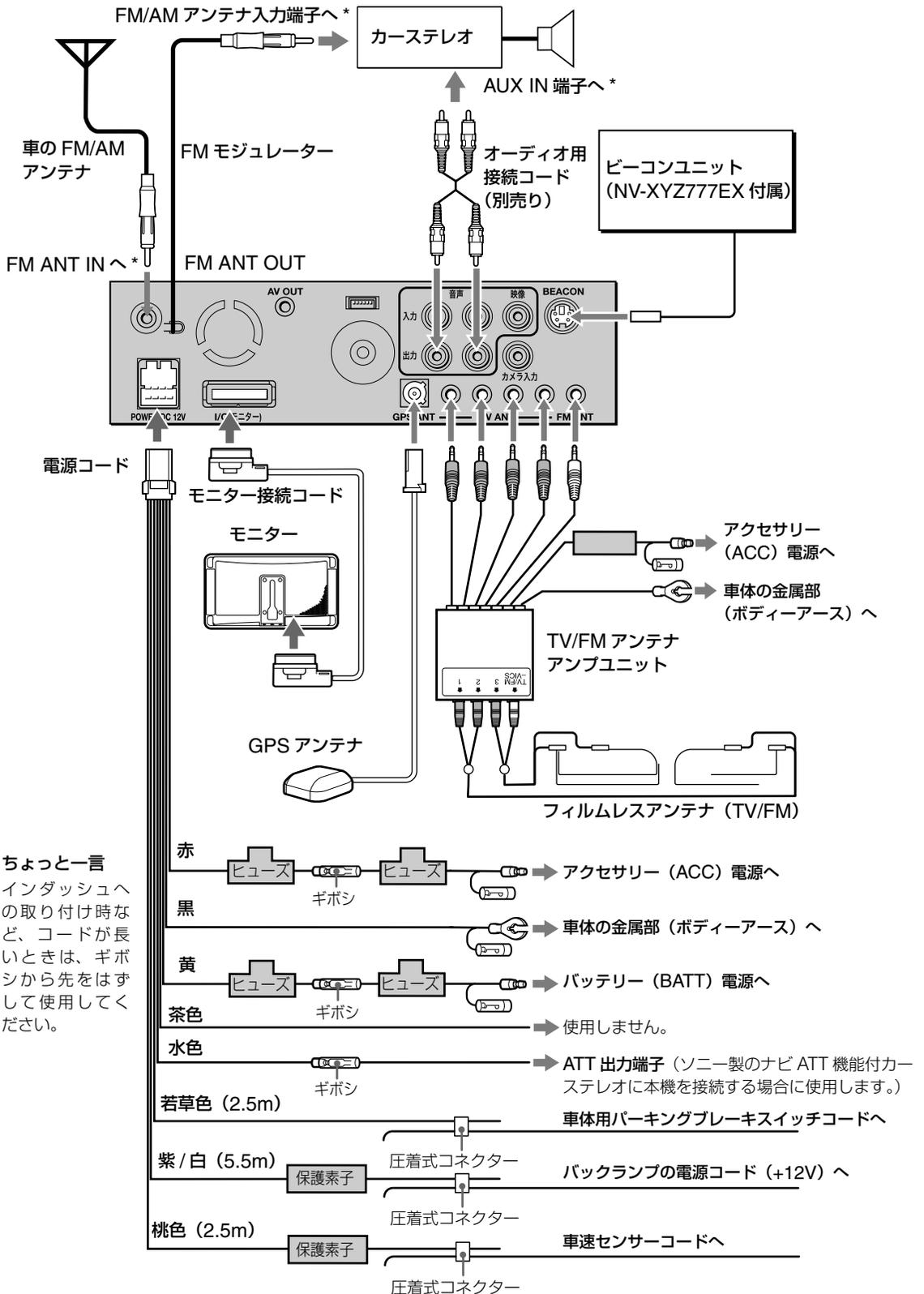
- 車速センサーコードを接続している場合は、必ずバックランプの電源コードへの接続も行ってください。接続しないと、自転車位置がバック時に前進表示され、ずれてしまいます。
- 本体を床置きする場合は水平5度以内、インダッシュにつける場合は水平30度以内で取り付けてください。5度以上の傾きがあるときは、取り付け後、次の操作をしてください。

**取り付け角度自動調整の初期値を設定するには：**APPLI ボタン→「ナビゲーション」→MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「車両情報を設定する」→「取り付け角度自動調整の初期値を設定する」

- GPS アンテナは、XYZ 本体やビーコンユニット、レーダー探知機、携帯電話から離して設置してください。近づけて設置すると、GPS の受信状態が不安定になることがあります。
- GPS 衛星を3つ以上受信していることを確認してください。  
**GPS の受信状況を確認するには：**APPLI ボタン→「ナビゲーション」→MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車両情報を確認する」→「GPS 受信状況を確認する」→「GPS 受信状況」  
 GPS の受信状況は、「グレー」「暗い黄色」「明るい黄色」の状態で見られます。自転車位置を測位するには「明るい黄色」の衛星が3つ以上必要です。

# 接続全体図

必ず 16 ~ 35 ページに記載のご注意を、あわせてお読みください。



- \* お手持ちのカーステレオに外部入力 (AUX IN) 端子がある場合は、オーディオ用接続コード (別売り) で XYZ 本体とカーステレオを接続してください。  
外部入力 (AUX IN) 端子がない場合は、FM モジュレーターを使用します。XYZ 本体に車の FM/AM アンテナを接続し、XYZ の FM ANT OUT の先を、カーステレオの FM アンテナ入力端子へ接続してください。コードの長さが足りないときは、付属の FM モジュレーター延長コードを使用してください。

## 接続時のご注意

- 接続コード、電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取りつけ、設置してください。接近した状態で設置すると、テレビ画像が乱れることがあります。
- パーキングブレーキスイッチコード、バックランプの電源コード、車速センサーコードの位置は車種により異なります。詳しくは Mobile Electronics Information (<http://www.mobile.sony.co.jp/>) または「ソニー FAX インフォメーションサービス」(裏表紙参照) をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。
- 車速センサーコードに接続したときは、自車位置を正しく表示するために、必ずバックランプの電源コードへの接続も行ってください。接続しないと、バック時に前進表示され、自車位置がずれてしまいます。
- 本機はデジタルパルス入力を想定しています。アナログパルスが発生する車に接続するには、別売りの車速パルス発生器 XA-200S を取り付けてください。(車種やタイヤによっては取り付けられない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。)
- 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

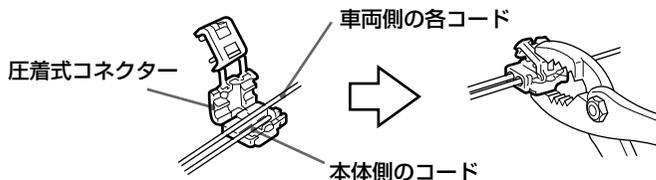
## アクセサリポジションのない車へ接続時のご注意

- 本機に付属のフィルムレスアンテナ (TV/FM) は、取付・接続しないでください。  
バッテリー電源 (常時電源) に接続すると、バッテリー上がりの原因となります。
- 赤色コードを黄色コードと同じ車両側のバッテリー電源へ接続してください。
- エンジンを切っても本機の電源はきれませんが、バッテリー上がりの原因になります。車から離れるときには必ずモニターの (電源) ボタンを長押しして、本機の電源を切ってください。

### ご注意

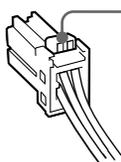
- 保護素子がある場合は、圧着式コネクタは保護素子よりコード先端側で使用してください。本体側に接続すると故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。
- 車両側の線が細い場合には、接触が不十分になることがあります。

## 圧着式コネクタの使いかた



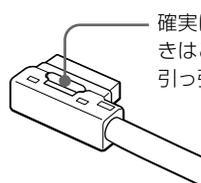
## 各コードの差し込みかた

### 電源コード



カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき引く。

### モニター接続コード



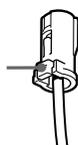
確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき引く。

### ご注意

モニター接続コードを抜くときは、モニターの (電源) ボタンを長押しして、XYZ 本体の電源を切ってから行ってください。

### GPS アンテナコード

確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき引く。



## Mobile Electronics Informationのご案内（インターネットでご利用いただけます）

URL : <http://www.mobile.sony.co.jp/>

## ソニー FAX インフォメーションサービスのご案内（FAX 付電話でご利用になれます）

### カーフィッティング FAX サービス

車両メーカー、車種・車両形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、  
各種センサー位置等の資料

24 時間  
お手元の FAX で  
資料が取り出せます

- インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車両メーカー別の BOX 番号を受信
- 資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当 BOX 番号を入力してください。

- ソニー FAX インフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。また FAX の機能によっては受信できない場合があります。
- FAX サービスのメンテナンス日は **毎月第 2 木曜日 午前 8 : 00 ~ 午後 11 : 00** となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。（第 2 木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。）

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

### お客様ご相談センター

- ナビダイヤル ..... ☎0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

- 携帯電話・PHSでのご利用は...03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

- FAX ..... 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00  
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



正しい取り付け  
正しい操作で  
安全運転



この説明書は 100% 古紙再生紙と  
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植  
物油型インキを使用しています。